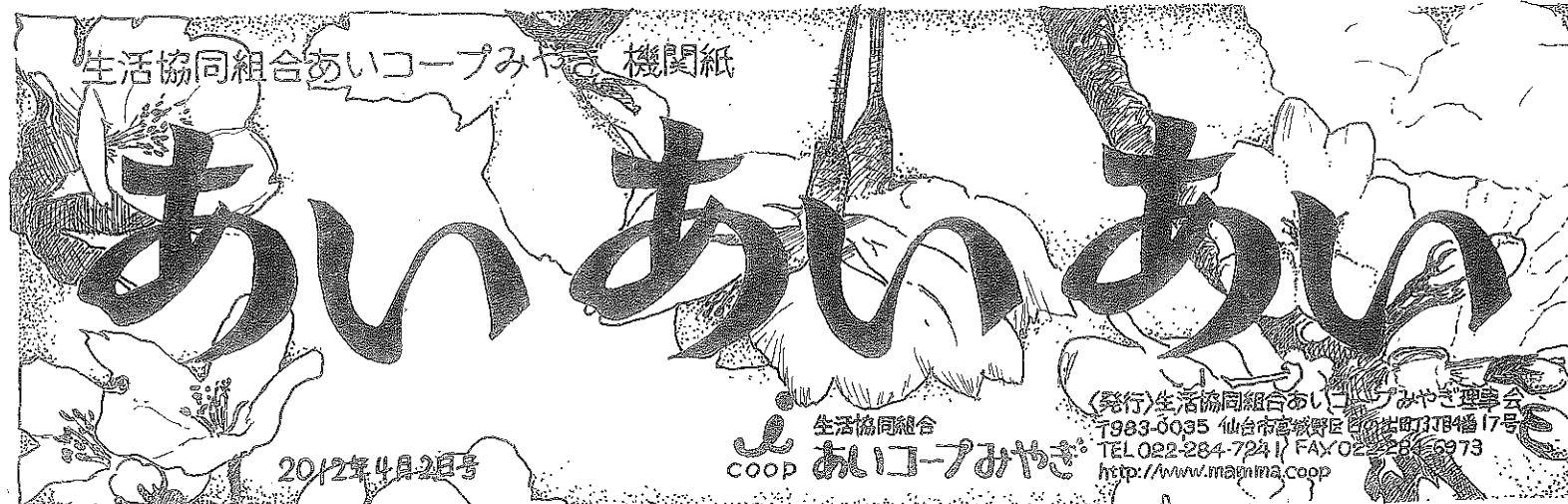


生活協同組合あいコープみやぎ 機関紙



2012年4月2日号

生活協同組合
COOP あいコープみやぎ

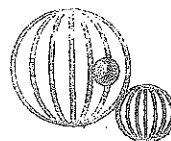
(発行)生活協同組合あいコープみやぎ理事会
〒983-0035 仙台市宮城野区日通町17番17号
TEL 022-284-7241 FAX 022-284-6973
http://www.miyama.coop



今年の「ひとめぼれ」の種もみ

おいしい米作り、今年も始まります
『農薬を使わない種子消毒』

大郷みどり会では、米作りの出発点となる種もみの準備がありました。種子消毒は農薬削減の技術として注目を浴びている「温湯消毒」。60℃のお湯に10分浸すことで、イネの病気を防ぎます。「子どもの頃からある技術が見直されている。農業は病気との戦い、農薬に頼らない方法を若手生産者へも伝えていきたい。」と西塚さん。安全で美味しいお米が楽しみです。



大震災
あの日から一年

本当の笑顔に戻れるように

—— 震災はまだ終わってはいません ——

3月11日、私は配送の途中で、震災による津波に流され、奇跡的に助かりました。多少のケガはありましたが、他県の生協を始め、職員、生産者が前を向いて立ち上がろうとしている中、私自身は津波に流された時の事が忘れられず、毎日の様に夢を見ていました。夢を見るだけでも体力を奪われる様な錯覚を感じながら、他生協から送られてくる物資を組合員さんのもとへ運んでいました。配送していると、多くの組合員さんと話しをしているうちに気持ちも少しずつ晴れていきました。私自身も気持ちが変わった一言があります。亡くなった組合員さんのご家族の一言でした。安否確認によりその後ご家族と話をしました。娘さんのお子さんの一言。4~5歳ぐらいだと思うのですが、私の顔も見たことがないのに、急に「お兄ちゃん、頑張って」と。私は涙を止めることが出来ませんでした。小さい子でもこの震災は計り知れません。その言葉が私を変えました。その後私は、組合員さんやその家族が本当の笑顔、自然に笑えるようにと、日々、一人一人の組合員さんとお話しすることを心がけてお届けさせていただいております。震災前の笑顔に戻れる日を待ちわびて、これからも頑張っていきたいと思っております。

事業部職員 鈴木利成

異様に長く強い揺れ。逃げ惑う人々。大渋滞。ボタ雪。津波...そして火災。星のキレイな長く寒い夜。

自分が避難所生活をするとはいわなかった。電気がない、水が出ない。ゴミ袋は長靴代わり。そこそこに自衛隊の車輛。物資配布に長蛇の列...

ほんの一年前の話。

それから、たくさんのボランティアの方々に、泥かきやガレキの撤去をしてもらいました。支援の物資をいただき、感謝の気持ちでいっぱい。

まんま通信からは、被災企業・生産者の皆さんが少しずつ復興していている姿に嬉しくなります。

この震災で、人とのつながりを深めたり、環境が変わり、これからもどう変わるのか見通しのつかない状態で...

いろいろ考えた私の一年でした。

震災は、まだまだ終わってはいません。

石巻地区委員 酒井亜希

あいコープカレンダー
3月23日現在
東ドイツの戦後復興の歴史を映画で
映画上映会

3/4(土) **第4の革命** (空想科学)
場所: 仙台メディアテーク7F 7Fスタジオ99
時間: 10:30~12:30 // 13:30~15:30
チケット価格: 800円 (当日券)

3/5(日) **植田 勲 講演会**
場所: エルピオ7仙台セミナーホール
時間: 10:00~12:00

3/23-24(金) **議案書説明会**
各地区で開催

6/21(木) **総代会**
場所: エルピオ7仙台セミナーホール
時間: 9:00~

ジョイケア 東郷地区 無料電話相談

相談日	相談時間
10日(火)	法律相談 13:30~15:30 年金相談 13:30~15:30
16日(月)	思春期相談 9:00~11:00
17日(火)	子ども相談 10:00~12:00 くらしの相談 10:30~12:30

*各相談日前週の金曜日(～15:00)までに予約してください。随時予約可能です。

*ジョイケア事務局 受付電話番号
電話 022-284-7277

入学祝・節目祝い
申し込み締め切り 4月13日(金)

STOP! 女川原発再稼働3・20アクションに参加したい!!

3・11の地震で女川原発も危機一髪でした。未来を選択するのは、今の私たちです!



STOP! 女川原発再稼働3・20アクションに、2歳の息子を連れて参加してきました。会場の錦町公園に着くと、様々な団体の旗と、人々...。ご年配の方から私のような子ども連れまで、たくさんの方がプラカードや横断幕や標榜など、それぞれの形で、脱原発への決意を表現していました。
原発いらない! 子どもを守ろう。〜とコールしながら行進して、一着脱いたことは、治道の人たちが想像していた以上に共感してくれたことです。三越前を歩いていると、おはあさん達が拍手してくれました。そして、警察の方が丁寧に誘導くださったおかげで、2歳の息子も歩き通すことができました。**脱**原発の輪が確実に広がっていることを、実感してひとときでした。
 脱原発委員でも、親子で参加しやすいデモを企画したいと思っています。

子ども達の未来のために脱原発を進める委員会
 山田 泉

宮城県議会に「子ども達を放射能から守る」請願書を提出

2月29日、あいコープみやぎなど県内の35の市民団体が共同で、宮城県議会に「子どもたちと妊産婦を放射能から守るための体制の確立を求める請願書」を提出しました。請願の趣旨は次の2つです。

①宮城県内の18歳以下のすべての子どもたちが、福島県と同様に甲状腺検査及び内部被ばくの状態を把握出来る継続した健康調査を、公費で受けられるようにすること。また、希望する妊産婦に対して、内部被ばくの状態が把握出来る健康調査及び母乳検査を、公費で受けられるようにすること。

②宮城県内の子どもたちの健康を守るために、積算被ばく線量が測定出来るようガラスバッジの配布、装着を進め、被ばくの状態を把握し、低減化策にいかすこと。

宮城でも特に丸森・白石などの南部では福島並みの高レベルの汚染地帯が確認されています。にもかかわらず、宮城県の有識者会議は「宮城では健康被害は出ない。だから調査の必要はない」と結論づけました。しかし、せめて宮城の子ども達と妊産婦も福島並みの健康調査が受けられるようにしてほしいというのは当然の願いではないでしょうか。宮城県議会への請願に、35もの団体が名を連ねたのは「県政史上初」だそうです。それだけ県民みんなの願いだということです。今回の議会では「継続審議」となりましたが、引き続き、県民の力を合わせて県議会へ請願採択を働きかけていきましょう。

(専務理事 多々良 哲)

生産者っうしん!!

大震災から1年。さまざまな地域でさまざまな生産者の皆さんが、東北の復興のために努力を続けています。その思いを受け取って、買い支えていきましょう。

一枚一枚 心をこめて
 塩釜市 間宮商店

東日本大震災発生からの一年は非常に早く感じました。今になって考えるとライフラインが復旧し、製造を再開することが出来るようになってからは一いふれに前を向き走り続けてきたように思います。あ、という間の一年でしたが、震災の直後から皆様より暖かいご支援や励ましの言葉をいただき、そのお蔭で本当に救われました。応援してくださった組合員の皆様に、おかげで商品をお届けできる事、干物を造れる事の喜びを日々感じています。今一度初心に帰り、皆様に「美味しい」と感じていただけるよう、これからも一枚一枚丁寧な仕事を心がけて行きます。

間宮商店 石川和宏



サンマ開き冷蔵

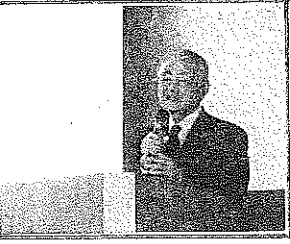


石川和宏さん



3/12(日) 福元PTA 委員オリエンテーション開催!

「花見園の3・11」講演会
 花たまご生産者 大須賀 木さん



新地区委員さんに向けて、組合員活動の一年の流れや、マヨネーズ開発時の組合員活動の紹介などを理事から説明を受けました。次に、「花見園の3・11」と題して生産者の大須賀 木さんよりお話を聞かせていただきました。

花見園では約20万羽の鶏が餓死してしまつたそうです。福島第一原発から2キロの大熊農場へは許可なしでは立ち入ることが出来ませんでした。7月振りにやっと防護服を着て入った時、病気を防ぐために綺麗にしていた鶏舎は痛み、あちこちで卵が破裂していたそうです。大須賀さんは現在78才です。残りの人生をかけて、価値ある無薬の卵と鶏作りを再建する。とおっしゃられました。購入し、さらに組合員活動を通して関わり知ること、私たちも再建の応援をしたいと強く思いました。

今年度は、3年連続ビジョンを元に、各地区で活発な活動が出来ればと思います。

理事 砂子 啓子